

平成22年上半期火災・救急・救助概要（概数）

小松市消防本部

火災概要

平成22年上半期の火災件数は11件で、昨年の同時期に比べると10件の減少となり、建物火災が7件でそのうち住宅火災が4件となっています。また、火災による死傷者は2名（死者1名、負傷者1名）で、そのうち住宅火災による死傷者は発生していません。

損害額は、昨年の同時期と比べると増加（約1,700万円増）しています。

主な出火原因では、「放火」若しくは「放火の疑い」が4件でトップであり、次いで「ストーブ」、「たばこ」が各2件となっています。

住宅用火災警報器の設置については、住宅火災4件のうち1件の設置となっています。

区分		年	平成22年	平成21年	増減
火災件数	合計		11	21	▲ 10
	建物火災		7	13	▲ 6
	林野火災				
	車両火災		1	5	▲ 4
	船舶火災				
	その他火災		3	3	
焼損棟数			9	14	▲ 5
り災世帯数			6	4	2
面焼積損	建物床面積（㎡）		340	469	▲ 129
	建物表面積（㎡）		13	99	▲ 86
	林野（a）				
損害額（千円）別	合計		36,457	19,631	16,826
	建物	建物	33,569	11,732	21,837
		収容物	2,882	7,268	▲ 4,386
	林野				
	車両		1	567	▲ 566
	その他		5	64	▲ 59
死者数			1	1	
負傷者数			1	5	▲ 4
火災発生間隔日数（日）			16.5	8.7	7.8
焼火損元程度建物	全焼		1	1	
	半焼		1	1	
	部分焼		3	2	1
	ぼや		2	9	▲ 7
住宅用火災警報器設置件数			1		

救急概要

平成22年上半期(1月～6月)の救急出場件数は1,520件で、前年同時期に比べ28件減少しています。前5ヶ年の平均値1,529件に比べると9件減とほぼ横ばいを推移しています。1日平均すると8.4件の出場となり、10年前の同時期に比べ約34%も増加しています。

搬送人員は1,452人で、小松市民の約75人に1人が利用したことになります。搬送した傷病者のうち約46%は入院の必要がない軽症者でした。

区分		年	平成22年	平成21年	増減
救急 出 動 件 数	合 計		1,520	1,548	▲ 28
	急 病		903	923	▲ 20
	交 通 事 故		178	203	▲ 25
	一 般 負 傷		239	207	32
	転 院 搬 送		136	150	▲ 14
	上 記 以 外		64	65	▲ 1
救急 搬 送 人 員	合 計		1,452	1,434	18
	急 病		856	850	6
	交 通 事 故		191	200	▲ 9
	一 般 負 傷		231	198	33
	転 院 搬 送		135	150	▲ 15
	上 記 以 外		39	36	3

救助概要

平成22年上半期(1月～6月)の救助出動件数は21件で、前年同時期に比べ14件減少しています。出動の6割以上は交通事故によるものです。

救助活動件数は13件、救助人員は15人となっています。

区分		年	平成22年	平成21年	増減
出 動 件 数			21	35	▲ 14
活 動 件 数			13	18	▲ 5
救 助 人 員			15	19	▲ 4